

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和元年10月8日

諏訪地域振興局

提出区分		実績					
整理番号		16	課題区分	C			
実施機関		諏訪地域振興局環境課			担当課	所属	諏訪地域振興局環境課
事業名		ヒシの実活用推進事業			電話	8-235-2541	
					E-mail	suwachi-kankyo@plef.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	ヒシの実の有効活用を推進し、住民の諏訪湖やヒシ除去への関心を高める。					
	現状と課題	現在は、除去したヒシの大半は堆肥化されているものの、それ以外の方法については普及していない。 諏訪湖創生ビジョン(以下「ビジョン」。)では、ヒシの大量繁茂対策における今後5年間の取組としてヒシの有効活用が掲げられており、除去したヒシを堆肥化して利用するとともに、有効活用の方法を調査・検討するとしている。					
	内容 (変更後の内容)	9月14日(土)にクリーンレイク諏訪で開催される「2019クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」において、ヒシの実やそれを使用した食品等に関して、実物やパネルの展示をするとともにアイデア募集等のアンケートを行い、ヒシの実の有効活用を促す。					
	事業期間	令和元年7月			～	令和元年9月	
	成果目標 (成果指標)	ヒシの実に関するアイデアを収集し、広く住民へ紹介することで、住民の諏訪湖やヒシ除去への関心を高め、ヒシのさらなる活用を推進する。					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	ヒシの実活用推進事業	ヒシの実の活用方法についてイベントで展示発表する	55,093	展示用物品、展示用器具			
合計			55,093				
事業実績・成果	事業実績	事業の成果			評価		
	9/14(土)に開催された「2019クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」において、ヒシの実の有効活用に関するパネル展示、クイズ及びアンケートを実施した。クイズ・アンケートは192名が参加した。	住民の中には、諏訪湖に大量繁茂している水草がヒシであることや、ヒシを堆肥化していることも知られていない状況であった。このような中で、ヒシの現状や有効活用について多くの人々に周知・啓発し、ヒシの有効活用のアイデアを収集することができた。			<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下		
今後の方向性	ヒシの現状についてより多くの県民に周知し、ヒシの実の有効活用を促す。						